



いちねんせい

ほん

一年生におすすめの本



ひとりでよめるかな？ チャレンジしてみよう！

本のなまえ	書いたひと	出版社	請求記号
おさるのまいにち	いとう ひろし/作	講談社	913/1/
みなみのしまでくらしているおさるたち。みんなでなかよくおしっこをしたり、きのぼりをしたり、かえるなげをしたり。あるひ、うみのむこうから、せかいじゅうをたびしているうみがめのおじいさんがやってきました。			
ぼくはなんでもできるもん	いとう みく/作	ポプラ社	913/1/
一年生になったばかりのぼく。六年生のよりこちゃんは、学校でのぼくのおせわがかり。よりこちゃんは、ぼくをあかちゃんあつかいしてばかり。「あたしがきょうしつまでつれていってあげる」といわれて…。ぼくはひとりでいけるのに！			
みちくさはやっぱりたのしい！	井上 ヒサト/さく	ポプラ社	913/1/
ナマケモノのネムタは、いつも木の上でねています。ある日、木のそばにあかいみがあったので、おばあちゃんにとどけることになりました。ともだちのノロカメくんといっしょにしゅっぱつ！ ノロテクノロテク、すすんでいくと…。			
うさぎのばんとぶたのばん	小沢 正/作	小峰書店	913/オ/
きつねのばんやさんにやってきたこぶたのころすけ。ぞうばん、とらばん、らいおんばん。どうぶつのかたちをしたばんがたくさんあります。これまでぶたばんしかたべたことがなかったころすけは、はじめてうさぎばんをかってたべてみると…！？			
うたのすきなかえるくん	かこ さとし/さく	小峰書店	913/加/
びょうきでねているなかよしのかえるちゃん。かえるちゃんにたべものをとどけるために、かえるくんはまちかどでうたをうたっておかねをかせぐことに！ でも、だれもきいてくれません。なにをやってもうまいかないかえるくんは…。			
おばけのアッチこどもプールのまき	角野 栄子/さく	ポプラ社	913/加/
アッチは小さなおばけの男の子。なつのあつい日、のらねこのボンと町のプールへやってきました。ところがプールはまんいんで、おばけとねこはおいだされてしまいました。しょんぼりしていると、ふしぎでたのしいプールにながれつきました。			
あひるのバーバちゃん	神沢 利子/作	偕成社	913/加/
スーパーマーケットにやってきたあひるのバーバちゃん。いちご、オレンジ、レタスにクッキー！。たくさんのおかいものをしたバーバちゃんは、にもつをいれるためのリュックサックもかいました。かえりみち、まいごのひよこにであい…。			
おねえちゃんってふしぎだな	北川 子ハル/作	あかね書房	913/キ/
ちーこちゃんのおねえちゃんは、しょうがくせい。おねえちゃんはひとりでがっこうにいけるし、おかあさんにおこられてもなかないし、すごいのです。あるひ、ふたりでのおつかいのとちゅう、ちーこちゃんはおねえちゃんをおこらせてしまいました。			
もぐらのひこうき	こぐれまさお/さく	小峰書店	913/コ/
ちこはもぐらのおとこのこ。トンネルほりとはつめいがだいすき。ひこうきにのりたくなったちこは、じぶんでつくることにしました。プロペラもエンジンもついていないちこのひこうき。かわりに、ちこははなのみつをかってきました。			
かいぞくぶろ	越水 利江子/さく	新日本出版社	913/コ/
あやちゃんはうみへいくのをたのしみにしていたのに、かぜをひいてしまいました。よるになり、ねつがさがったあやちゃんにおじいちゃんがいきました。「うみにいくから、みずぎをきておいで」。おじいちゃんの「うみ」は、どんなうみ？			
オリンピックのおばけずかん	斉藤 洋/作	講談社	913/サ/
オリンピックには、いろいろなおばけがでています。すいえいの百メートルじゆうがたにでたセノビールは、いっしゅんでしんちょうが五十メートルのびます。プールにとびこおと、しんちょうがぐーんとのびて…。			
すずちゃん	さえぐさひろこ/さく	佼成出版社	913/サ/
よわったすずめをみつけたようちゃん。げんきになるまで、おうちでおせわをすることにしました。「すずちゃん」とよんでなでてあげました。そして、すずちゃんはげんきになりましたが、ようちゃんははなれたくなくて…。			
ねずくとらくんのあついあついあつい	たるいし まこ/さく・	福音館書店	913/タ/
あついひ、ねずくとらくんは、せんぷうきをだしました。ふたりはせんぷうきをらんぼうにあつかったので、せんぷうきはおこってしまいました。せんぷうきのたいふうみみたいなかぜで、ねずくんとらくんもふきとばされてしまい…。			



ウラもみてね→

いちねんせい ほん
一年生におすすめの本

本の名前	書いた人	出版社	請求記号
ももたろう	竹崎 有斐／著	偕成社	913/ニ/
<p>ぽかっと二つにわれたももからでてきたももたろう。りっぱなわかものにそだち、大木をねっこからひきぬくほどの力もちになりました。とのさまにおにたいじをたのまれて、ももたろうはおにがしまへいくことに！</p>			
もりのゆうびんきょく	舟崎 靖子／作	偕成社	913/7/
<p>もりのゆうびんきょくではたらいっているはりねずみさん。じてんしゃののって、はいたつをします。おひるのサンドイッチをたべていたら…まちがえて、だれかのてがみまでたべてしまいました！こまったはりねずみさんは…。</p>			
おひめさまがっこうへいく	まだらめ 三保／さく	ポプラ社	913/マ/
<p>おひめさまのがっこうは、みずうみのまんなかの小さなしにありました。がっこうがつまらなくて、にげだしたいおひめさま。みずうみにゼリーのものをたくさんいれて、みずうみのゼリーのうえをあるいてにげちゃえ！</p>			
あこちゃんは一ねんせい	間所 ひさこ／作	あかね書房	913/マ/
<p>とってもはやおきたあこちゃん。きょうは、にゅうがくしきです。うれしくてらんどせるをしょったまま、あさごはんをたべました。おかあさんといっしょに、がっこうへむかいます。おともだち、できるかな？</p>			
おとうさんの手	まはら 三桃／作	講談社	913/マ/
<p>目が見えないおとうさん。だけど、おとうさんには、においや音から、いろんなことがわかります。おとうさんのしごとは、はりちりょう。おとうさんの手がかんじゃさんのからだにふれる、そして、ながいはりをつきたてる。</p>			
こぶたしよくどう	もとした いづみ／さく	佼成出版社	913/モ/
<p>こぶたのきょうだいがしよくどうをはじめました。カレー、ラーメン、オムライス。どのりょうりもおいしくて、おきゃくさんはいっぱい。ところが、きつねおばさんだけは、いちどもしよくどうにきてくれなくて…。</p>			
くまちゃん、どこいくの	もりやま みやこ／作	ポプラ社	913/モ/
<p>「くまちゃん、どこいくの？」ぶたちゃんにきかれたくまちゃんは、とおくをさしていいました。「ずーっとむこうまで」。おおきなきのむこうになにがあるのかしらべるために、くまちゃんはひとりであるきはじめました。</p>			
ほしのこルンダ	やなせ たかし／さく	ポプラ社	913/ヤ/
<p>ほしのてんしルンは、いたずらがだいすき。だいてんしさまをおこらせてしまったルンは、ちじょうにおいてよわいものをたすけることになりました。ほしのこルンダにうまれかわって、おおぐちパクリんとたたかうことに…！どうなるんだ？ルンダ！</p>			
こうえんのシロ はるのはな	わたなべ ひろみ／さく	ポプラ社	913/ワ/
<p>こいぬのシロはワンワンパトロール隊をしています。なかまといっしょに、こうえんをまもっています。はるのこうえんは、はなざかり。そこに、ねがいごとをかなえてくれるというふしぎなはながさきました。</p>			
ぼくはめいたんてい 1 きえた犬のえ	マージョリー・W・シャーマット／ぶん	大日本図書	933/ツ/1
<p>ネートはめいたんていのおとこのこ。ともだちのアニーから、じけんをしらせるでんわがかかってきた！「あたしがかいた犬のえがなくなっちゃったの」。さあ、ネートはアニーのえをみつけだせるか？</p>			
ねこはやっぱりねこがいい	ヘレン・ヒル／ぶん	大日本図書	933/ヒ/
<p>こねこのトプシーは、おかあさんにしたでべろべろ、かおやからだをあらわれるのがだいきらい。「あたし、もう、こねこがいやになっちゃったの」。いえでをしたトプシーは、うさぎのおかあさんにこえをかけられ、うさぎになってくらしてみること。</p>			
おおかみと7ひきのこやぎ	グリム／さく	金の星社	943/グ/
<p>こやぎだけでるすばんをしていたら、おおかみがやってきました。かあさんやぎのふりをして、こやぎたちにいえのとをあげさせようとするおおかみ。しろいこながぬられたおおかみのあしをみて、こやぎたちは、とをあげてしまい…。</p>			
こわがりうさぎのホッピーくん	エリザベス・ショー／作	徳間書店	943/ツ/
<p>こうさぎのおとこのこのホッピーは、いつもおどおどびくびくしています。あそびあいては、おちびのウリだけ。あるひ、むらにわるもののきつねがやってきて、ウリをつかまえてしまいました。「ウリがたべられちゃう！ どうしよう!？」</p>			

